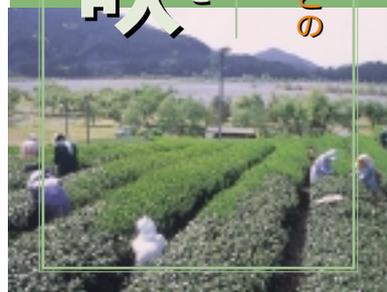


香味に富んだ早生品種、やぶきたとの組み合わせ栽培に適す。

山の息吹

いぶき



良品質の早生品種が少ないなか、「山の息吹」は樹勢が強く、耐寒性も「やぶきた」程度で、適応地域幅も広く、香味に富んだ早生品種のため、「やぶきた」と組み合わせ栽培することにより、規模拡大と茶業経営の安定化に寄与でき、生産者からの期待も大きな新品种です。

品種の来歴と特徴

静岡県茶業試験場で、昭和50年に榛原郡中川根町の「やぶきた」実生茶園から種木で収集したものの中から選抜され、平成6年に種苗法による品種登録出願を行い、平成9年に登録されたものです。

「やぶきた」より4〜5日早い早生品種で、樹姿はやや直立型、樹勢の極めて強いものです。

品質の特性

早生品種ではあるが、水色、香氣、滋味の性質は非常に優れています。特に、新緑を感じさせる軽やかな香氣に、渋味少なく十分な旨味が感じられます。化学成分では、旨味成分と言われるアミノ酸やテアニンの含量が高く、渋味成分のカテキン含量が少ない傾向にあります。

栽培上の注意点

樹勢が旺盛で、樹姿がやや直立型のため、幼木期の仕立てに注意し、株張りの確保に努める必要があります。また、早生種のため凍霜害対策には万全を期す必要があります。その他、立枯れ症やクワシロカイガラムシには、「やぶきた」程度に弱いので、その防止対策が必要です。

加工上の注意点

水色に比較し、旨味が強く、渋味の少ないものです。蒸し度は30秒程度で形状、色沢などの外観が優れ、香氣、水色、滋味などの内質は45〜60秒程度が優れていました。

普及および栽培適地

「山の息吹」は、耐寒性が「やぶきた」程度に強く、樹勢が旺盛なため、広い適応地域幅を持っています。しかし、早生種であるため、温暖地域で凍霜害の少ない地域が栽培に適します。

苗木の入手方法

種苗法登録品種ではありませんので取扱いが自由です。農協を通じて経済連へ申し込んでください。

命名の由来

静岡県中川根町の山間地から収集された早生種のため、緑の山々に囲まれた中を新緑の風が、いち早く萌え出した茶芽を吹き抜ける爽やかさをイメージするとともに、新たな息吹が茶業界に起こることを祈って命名されました。



品種名	育成年	種苗登録の有無	育成場所	育成場所
山の息吹	1997	有	静岡茶試	やぶきた自然交雑実生



早晚性	樹姿	樹勢	収量性	品質			耐寒性 (赤枯れ)	耐病性 (炭そ病)
				色沢	香氣	滋味		
早生	やや直立	強	中	上	上	上	やや強	中